

水素自給型 タービン発電システム

我々は、2003年から電位差による水素を使って燃料電池で蛍光灯（40W）を点灯させました（兵庫県立工業技術センター）。2009年中国経済産業省「アーク放電による水素発生を活用した低酸素社会システム実証事業」を行いました。

2024年「水素自給型タービン発電システム」の研究に取り組んでいます。タービン燃料ケロシンを水素ガスに移行し、最終的にケロシン10%と $H_2 + O_2$ + 高温に加熱された酸性液の混合をタービン燃料として考えています。



経済産業省中国経済産業局「アーク放電による高効率に生成した水素を活用した低炭素社会システム実証モデル事業」



兵庫県立工業技術センター・三洋電機(株)燃料電池システムの共同開発



日本力をリードするナノテク企業精選74社に選ばれた。

2009年

2006年

米国航空宇宙協会（AIAA）第1回エネルギー変換工学国際会議にてOCT水素発生システムの論文発表（2006年まで毎年）

2003年



試験風景



【可燃画像】

2024～2025年

水素自給型
タービン発電システム



2001年

2000年

三重大学・ダイハツと水素自給型電気自動車開発



国際フロンティア産業メッセ 2024 (2024.9.5～9.6)

【参加大学・企業】 1. 三重大学名誉教授 加藤 征三 2. (株)オクト 田中 好郎 吉村 孝 3. (株)千代田精機 浪本 進一郎 4. (株)ライズエージェント 濱口 晃行



SIR 知財登録認証番号
(知財(IP)コード)
S3920000232401013

本事業に、参画ご希望・ご興味を持たれた企業様・個人様は下記までお問い合わせ下さいませ。

(株)オクト TEL: 078-306-0408 Mail: octinc@myad.jp

